

講義科目名称： 看護学教育論

授業コード： 8410000400

英文科目名称： Theory of Nursing Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員			
◎舟島なをみ			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎ 舟島なをみ</p> <p>【所属】 清泉女学院大学</p> <p>【本学の科目区分】 共通科目</p>
------	---

到達目標	<p>世界の看護学教育の現状の理解を前提として、看護基礎教育・卒後教育・継続教育の展開に必要な知識・技術を修得し、将来、日本の看護学教育を牽引できる看護職者としての能力の基盤を形成するために次の目標の到達を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学教育 3 領域（看護基礎・卒後・継続教育）各々の特徴と質の高い看護職者養成に向けた 3領域が果たす役割を論述する。</li> <li>2. 看護学教育先進国と日本の看護学教育の現状を比較分析し、日本における看護学教育の課題を考察する。</li> <li>3. 看護学教育 3 領域の基盤となる教育の理論と知識、技術を修得する。 (教科の構造・教育目標分類学・カリキュラム編成・授業計画立案・看護継続教育プログラム立案)</li> <li>4. 看護学研究指導に必要な知識と技術の概要を学習し、看護学博士の学位を持つ看護職者として看護学研究指導能力獲得の重要性を論述するとともに、研究指導能力獲得に向けた課題を 3 項目以上列挙する。</li> <li>5. 1 から 4 の学習を通して教育を牽引できる看護職者の具備すべき要件を論述する</li> </ol>
授業概要	<p>看護基礎・卒後・継続教育 3 領域の教育の展開、またその展開を牽引できるリーダーとしての資質を修得するために必要な内容を学習する。講義のみならず演習や討議といったアクティブラーニングの手法を積極的に取り入れる。事前準備が重要な授業である。</p>

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：講義          学習課題：授業概要の理解          ・看護職者と教育          学習内容：1. 専門職と専門家          2. 看護専門職者にとっての教育に関する知識の必要性          備考：舟島</p> <p>2-4 授業内容          授業形態：講義          学習課題：看護学3領域の特徴と質の高い看護職者養成に向けた3領域が果たす役割          学習内容：1. 専門職と専門家          2. 看護専門職者にとっての教育に関する知識の必要性          備考：舟島</p> <p>5-7 授業内容          授業形態：演習（発表・討議・講評）          学習課題：看護学教育先進国の現状と課題          学習内容：【事前学習】          アメリカ・カナダ・オーストラリアなど看護学教育先進国の情報収集と現状把握と資料作成          1. 調査結果の発表と討議          2. 講評          備考：舟島</p> <p>8-10 授業内容          授業形態：演習（発表・討議・講評）          学習課題：日本の看護学教育の現状と課題          学習内容：【事前学習】          日本の看護学教育の情報収集と現状把握と資料作成          1. 調査結果の発表と討議          2. 講評          備考：舟島</p> <p>11-13 授業内容          授業形態：演習（発表・討議・講評）          学習課題：看護学教育の基盤となる教育の理論と知識、技術          学習内容：【事前学習】          教科の構造・教育目標分類学・カリキュラム編成・授業計画立案・看護継続教育プログラム開発に関する文献の閲読と資料作成</p>
------	--

	<p>1. 学習成果の発表と討議 2. 講評</p> <p>備考：舟島</p> <p>14-15 授業内容 授業形態：講義 学習課題：看護学研究指導方法論まとめ 学習内容：【事前学習】 舟島なをみ著：研究指導方法論、医学書院、2015. の閲読 1. 研究指導能力の獲得の必要性 2. 研究指導の構成要素</p> <p>備考：舟島</p>
事前・事後学習	必要時、講義予定の1週間前に指示します。
評価方法、評価基準	発表とその資料 25%、最終レポートテーマ「看護学教育論における学習成果」50%、出席を含む授業への参加状況 25%
テキスト	舟島なをみ監修：看護学教育における授業展開、医学書院、2013. 舟島なをみ監修：院内教育プログラムの立案・実施・評価第2版、医学書院、2015. 舟島なをみ著：研究方法指導方法論、医学書院、2015.
参考図書・資料等	杉森みど里他著：看護教育学第6版、医学書院、2016.
受講、課題、資料配布等のルール	双方向通信システムによる遠隔授業とする。資料等は、適宜説明する。
教員からのメッセージ	シラバスを精読するとともに、課外学習の時間の確保が必須な科目である。
オフィスアワー	相談に応じます。